

# 青森県に適した デルフィニウムの作型

デルフィニウムは、無加温ハウスでも越冬可能な宿根性品目です。慣行の春植え栽培だけでなく、秋植えや越冬据え置き栽培を組み合わせると、長期継続出荷が可能になります。

## 1 青森県オリジナル品種「ブルースピアー」の作型

	2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
4月下旬定植		○																		
		○																		
5月下旬定植																				
【秋植】11月上旬定植																				
【据置】2年目以降																				

慣行の4月下旬定植の作型では、7～8月に1番花、同一株から9月以降に2番花が収穫できます。

秋植栽培では越冬後の5月に1番花、同一株から7月に2番花が収穫できます。

各作型とも株をそのまま越冬させ、2年目以降は5～6月に1番花、7月以降に2番花が収穫できます。



据置栽培2番花(2018.8.6)

## 2 収穫期間と適品種、耐寒性

- ◆ 複数の作型を組み合わせることにより、無加温ハウス栽培で5月から10月までの6ヶ月間、継続的に収穫が可能です。
- ◆ 特に「ブルースピアー」は越夏後の枯れが少なく、季節による切り花品質の変動も少ないため、長期継続出荷に好適です。
- ◆ 冬季に地上部は枯れますが、無加温ハウスで越冬できます。宿根草であるメリットを活かし、一度植えた株を2～3年にわたって使えば、毎年新しく植える手間が省けます。

## 関連情報

9～10月にポリウムのある切り花を収穫するためには、5月下旬定植の作型において定植後強遮光トンネル処理が有効です。

(平成28年度農林総合研究所試験成績概要集)